

**1 5/23 (土)**

**都市農村交流とコミュニティビジネス**

12:00～12:30 開講式

**都市農村交流とコミュニティビジネス**

藤田 武弘  
追手門学院大学教授  
和歌山大学名誉教授

付度(そんたく)しない「よそ者・若者」の目線こそが地域のイノベーションには不可欠です。日常的な中に埋もれた地域の価値を一緒に掘り起こしましょう!

**地域づくりからコミュニティビジネスへ**

木村 則夫  
㈱秋津野  
代表取締役社長

地域資源を活かしながら、住民主体の持続的な地域づくりを実践している田辺市上秋津地区を紹介。秋津野が昭和30年代からいくつかの地域づくりの組織や法人を立ち上げながらコミュニティビジネスに至った経緯を学んでもらいます。

**古民家宿の運営**

南出 典子  
風の古民家  
「うえみなみ」代表

紀美野町で古民家宿を起業して10年が経ちました。田舎で起業すると言う事や、自分にあった経営の話、この10年で見えてきた事や時代の流れなど、今感じている事と共にこれまでの経験や宿業の楽しさなどをお伝えしたいと考えています。

**4 8/29 (土)**

**求められる「連携力重視型人材」**

地域づくりに必要な人材育成

牧野 光朗  
追手門学院大学教授  
前長野県飯田市市長

-きみのを学び、きみに愛着を持った若者は、高校を卒業してもきみのとの関係を持ち続け、子育て世代になる頃には、自分の子どもはきみので育てたいと考えてきみに戻り、きみのを担う人材となる-目指すはこれ。

**地域とともに生きる高校の人材育成戦略**

松本 将史  
㈱能水商店  
代表取締役

新潟県立海洋高校は、文科省委託「マイスター・ハイスクール事業」の採択を受け、地域資源に付加価値をつける方法をPBLで学ぶカリキュラムに刷新しました。学習成果を地域振興につなげる専門高校の人材育成方法を紹介します。

**一人で頑張らない。焦りを希望に変える地域づくり**

片桐 翔太  
KATAKOTO CRAFTS 代表  
合同会社 Knots Community 代表社員

里山の衰退や地域の課題に気付くほどに焦り、「誰か」を待たず動き出しました。けれど大きな問題は、一人で抱えるほど苦しくなる。人が集い、つながり、地域を活かす。そんな地域の次世代を担う人を増やすために、あなたはどんな一歩を踏み出しますか。

**2 6/20 (土)**

**農業をめぐる環境変化と農山村**

農業の新たな展開

地域資源を活用した

岸上 光克  
和歌山大学教授

皆さんも実感していると思いますが、豊かな食を支える農業、その食糧供給とともに多面的機能を有する農村は危機的状況にあります。また、農業や農村を取り巻く環境も大きく変化しています。これからの農業・農村のあり方を一緒に考えましょう。

**関係人口の種を蒔く、地域農業の可能性**

井上 信太郎  
善兵衛農園 代表

解像度をあげてみると、地域には素晴らしい素材がたくさんあります。親元就農で代々続くみかん農業を地域に繋げる形でアップデートできるように実践しています。

**次世代につながる面白い楽しいと思われる農業の実践**

西岡 靖倫  
西岡農園 代表

生産、加工、販売を1農家がすることは無理がありますが、仲間が数人いるだけで広がりが出てきます。農業は感覚で語られることが多く戸惑います。おいしい、安全安心なものづくりは決して楽ではありません。次世代に向けた新規就農者拡大、遊休農地解消、空き家対策の種まきをしたいと思っています。

**5 9/26 (土)**

**関係人口と農業・農村**

田園回帰時代の農山村再生

図司 直也  
法政大学教授

農山村の地域社会が変化してきた背景を理解し、個人と地域を、また暮らしと仕事をつなぐ「なりわい」に着目して、先発的な地域づくりの取り組みを読み解きながら、田園回帰時代の農山村再生のあり方を考えます。

**農業の新たな担い手と関係人口**

貴田 理紗  
追手門学院大学講師

農業は職業としてだけでなく、関わり方次第で誰もが担い手になれる分野です。農業の新たな担い手像や関係人口の可能性を広げ、自分らしい関わり方を一緒に考えましょう。

**慌てず・焦らず・楽しんで、の移住と起業**

今別府 寛詞  
うたたねびより 代表

気持ちよく無理なく生き続けるために起業を前提に移住を決意。各地のセミナーや現地訪問を経て紀美野町を選びました。周囲の人も自分たちもストレスフリーで生活するためゆっくりと農家民泊開業準備を始めていきました。慌てない焦らない、移住起業です。

**3 7/25 (土)**

**農・食・観光のグリーン産業化と「食育」と「IR」**

可能性と起業

食産業の新たな

尾藤 環  
㈱辻料理教育研究所  
教育事業部 担当部長

現在、国際社会はグリーン社会へと大きく舵を切っています。そのようななか、農・食・観光産業はどのように変化するのか? 「食育」や「IR」は、グリーン産業化に連動していくのか? 2030年までの5年間を皆様と一緒に考えたいと思います。

**“フツー”の中に眠る地域のタカラ : わたしと地域の棚卸しから始める未来づくり**

岡 京子  
㈱笑顔創造 代表取締役

“フツー”と思っていた日常に、まだ光が当たっていない“地域のタカラ”が眠っています。「地域」と「わたし」の重なりを出発点に、未来のヒントを探りましょう。

**紀美野町移住・創業物語**

増山 佐恵加  
㈱三喜遊 LF  
代表取締役

紀美野町に移住して9年。きみの地域づくり学校で生まれた「つながり」から昨年10月に法人を設立しました。特別なスキルがあったわけでもない私が、どうして移住して起業したのか。自分の興味や価値観の見つけ方等も交えながらお話しできればと思っています。

1コマから受講が可能 / 講義後、各回交流会あり (参加自由)

**特徴**

- ・会員や地元住民、地域おこし協力隊、行政職員、大学生、地元高校生など多世代、異業種が集う「学びの場」です。
- ・地域、行政、大学が一体となった産官学連携のプログラムです。

**メンターの声**

前瀬 有佑  
みさとみらいファーム

2025年11月に1名のインターンシップ生を受け入れ、ぶどう山椒への肥料やり、紀州うすいんどうの種まき、新たに新高梅を新植する畑の開墾作業などを体験していただきました。農作業を通して、中山間地域で行う農業の特徴や可能性、そして長所・短所についてお伝えしました。自然と共に仕事をする楽しさや、同時に難しさも、実際の作業を通じて実感していただけたのではないかと思います。私自身にとっても良い刺激となり、新たな可能性を生み出すきっかけとなりました。この体験が、受講者の方の今後の参考になれば嬉しく思います。

**⇒ [実践編] Basic**

実践者をメンターとした現場でのインターンシップ 6～9回程度

- 飲食業**
  - ・くらとくり (食堂&カフェ)
  - ・ベーカリーテラス ドーシェル (パン&カフェ)
  - ・きこりのピザ屋 SOMAUD - ソマウド - (ピザ&カフェ)
  - ・Cafe&Guest House きみの さいか亭 (和カフェ)
  - ・キミノーカ (ジェラート) ※内容は要相談
  - ・きみのたから 焙煎体験カフェきたの
- 製造業**
  - ・アンフィ合同会社 (博物模型専門製造)
  - ・棕桐帯製作舎 ※説明のみ
- 地域資源活用**
  - ・毛原オートキャンプ場
  - ・KATAKOTO CRAFTS (古民家リノベーション)
- 農業・林業・6次産業**
  - ・小川地域棚田振興協議会 (米)
  - ・きみのフルーツ (柑橘)
  - ・(株)上中林業
  - ・NPO 法人きみのゆき (米・もち米・野菜等 無施肥無農薬栽培)
  - ・向ファーム (緑花木生産)
  - ・みさとみらいファーム (梅・ぶどう山椒)
  - ・秋津野ガルテン【田辺市】
  - ・農業生産法人(株)Citrus- シトラス -【有田川町】
  - ・紀州柑橘 善兵衛農園【湯浅町】
- 宿泊業**
  - ・美里の湯 かじか荘
  - ・たまゆらの里
  - ・風の古民家「うえみなみ」
  - ・Cafe&Guest House きみの さいか亭

**⇒ [実践編] Advanced**

地域資源を活用したコミュニティビジネスの事業計画を2つの切り口(テーマ)から構想する社会実装型プログラム。町内外での調査研究やミーティング等、年間10～15回程度の活動を予定。

- テーマ① テロワール型6次産業化商品開発
- テーマ② 環境と調和した着地型観光商品開発

※過年度に座学編を修了した方対象